



青春時代を共に過ごした 旧友との再会

1月8日、産業文化会館で、平成24年行田市新成人を祝う会が行われました。

成人した948人のうち、振り袖や羽織はかま、スーツに身を包んだ727人が参加。旧友との再会に歓声が絶えず、楽しそうな表情を浮かべて写真を撮り合っていました。

各中学校ごとのスライドショーやお世話になった先生からのビデオレター、豪華景品が当たる抽選会など、盛りだくさんの内容に、会場は終始盛り上がりを見せていました。

晴れやかな門出を迎えた新成人の皆さんは、大人としての自覚を心に刻み、新たな一歩を踏み出しました。



消防職団員の結束力をさらに強化

1月7日、産業文化会館、市役所前および水城公園で行田市消防出初式が行われました。

この式に参加した消防職員および消防団員総勢273人は、服装規律点検をはじめ徒歩分列行進や一斉放水訓練に臨みました。この式で市民の安心・安全な生活を担う消防職員および消防団員の結束力がさらに強化されました。



関ヶ原東西武将隊が 行田にやって来た

12月23日、忍城址で忍城おもてなし甲冑隊と、岐阜県関ヶ原町で結成された「関ヶ原東西武将隊」によるイベントが開催されました。

石田三成のほか、徳川家康や大谷吉継など有名な武将に扮した武将隊との共演を見ることができるとあって、400人を超える方が来場しました。迫力のある演舞や紙芝居、楽しいトークショーが行われ、記念撮影会では、長い行列ができていました。

両隊によるおもてなしは、訪れた方全員にとって最高の思い出になったことでしょう。



新たな思いを胸に

12月31日、忍城址鐘楼^{しょうろう}付近で毎年恒例の行田ゆく年くる年が行われました。

除夜の鐘を突いて新年を迎えようと、鐘楼前には開始前から順番待ちの長い列ができていました。午後11時の開始を合図に、次々と鐘を突く1,000人の参加者たち。新年への思いが込められた鐘の音が行田のまちに響き渡っていました。



新年に願いを込めて

1月1日、「2012年～タワーからご来光～初日の出」が古代蓮会館で行われ、新年の幕開けを飾るイベントに約350人が訪れました。

当日はあいにくの曇り空でしたが、雲の間から太陽が顔を出すと、来館者から一斉に歓声が上がりました。カメラや携帯電話で撮影をしたり、思い思いの願い事をしたりして、輝かしい新年を迎えていました。

熱戦が繰り広げられた将棋大会

1月14日、中央公民館で第26回行田市少年少女将棋大会が開催されました。市内の小・中学生96人が参加し、個人・団体戦に分かれて熱戦が繰り広げられました。

にぎやかに騒いでいた子供たちも、競技が始まると大人顔負けの表情に。真剣なまなざしで次の一手を指していました。



「夜回り先生」が 子供たちの問題について語る

1月14日、産業文化会館で、行田市人権教育合同学習講演会が行われました。

深夜のパトロールを長年続け、生徒の非行防止や更生などに尽力する水谷修さんが、子供たちが抱えるさまざまな問題を紹介しました。シビアな内容でも小気味良いテンポで語る水谷さんのトークに、会場からは時折笑い声が漏れる場面も。また、東日本大震災で教え子を亡くした話では、参加者がハンカチで涙をぬぐう姿もあり、誰もが改めて子供たちの問題について考えさせられる講演でした。

